

<耐久クラス> ※車両規則はスプリントに準ずる

- [1] HRC GROM Cup 耐久クラス / ミニAクラス (35秒未満) / ミニBクラス (35秒以上)
- [2] レースは混走とし、賞典別で表彰を行う。

<料金>

- [1] 当日スプリント参加者 → 1チーム ¥8,000円
- [2] 耐久のみ出場の参加者 → 1チーム ¥10,000円
- [3] 当日エントリー → 1チーム ¥12,000円

<決勝レース時間>

- [1] 決勝レースは90分間とする。トップのチームが90分経過にてチェッカーとする。
- [2] レース中に万が一、赤旗中断となった場合、競技長の判断にてレースを続行するか決定する。

<スタート方法>

- [1] 決勝レースのスターティンググリッドは当日くじ引きにて決定する。
- [1] 決勝レースのスタート方法は、ル・マン式 スタートとする。(10秒前からカウントダウン後、日章旗にてスタートする)
- [2] スタートライダーは、各チームがライダーの経験や技量等を熟慮し、チーム内で一番安全にスタートできるライダーが好ましい。
- [3] スタート前、マシンのエンジンは全車停止していること。スタート後、第一ライダーがエンジンを始動しスタートとする。
- [4] スタート時はペアライダーのみがマシンを支えることができる。その際、装備一式着用を義務付けとする。
- [5] スターティンググリッドでのウォーマーの使用は禁止とし、マシン調整等も一切禁止とする。工具やケミカル類の持ち込みも禁止とする。
- [6] ジャンプスタート (フライング) があった場合でもスタートの仕切り直しはせず、反則スタートしたライダーのみにライドスルーのペナルティーが科せられる。

<レース中のピット作業及び車両修理>

- [1] 燃料補給を除き、レース中のピット作業及び、車両修理は必ず各自のピットかテントで行う。マシンをピット内へ入れることは可とする。
- [2] いかなる場合であっても、燃料補給は指定の場所で行う。ピット及びテント内等、指定場所以外での燃料補給を行ったチームはペナルティーを科せられる。
- [3] 燃料補給の給油装置は、クイックチャージャーシステムは禁止とする。
- [4] 燃料補給の際、車両がスタンドによって完全に支持された状況の下で行なわなければならない。(スタンドの構造・支持方法は問わない)
- [5] 燃料補給の際はエンジンを停止し、それ以外の作業は一切禁止する (スクリーン清掃・ネジ締め・空気圧チェック等)
- [6] 燃料補給の際、ライダー及びメカニックはマシンに乗車してはいけない。
- [7] レース中の車両修理に関して、全ての部品交換を認めるが、エンジンの載せ替え及びフレーム交換は禁止とする。車両変更も不可とする。

<決勝時のライダー交替>

- [1] ライダー登録しているライダーは、最低1回は走行しなくてはならない。
- [2] ライダーの走行順序は問わない。燃料補給時、同ライダーが連続しての走行も可とする。
- [3] ライダー交替及び、燃料補給の際は11番ピットを通りライダー交替及び燃料補給後13番ピットよりピットレーンに戻る。
- [4] ライダー交替及び、燃料補給の際、11番ピット入口から13番ピット出口までの区間はエンジンストップとする。

当日のブリーフィングを公式通知とする

※大会公式通知を正式とし、上記は変更される場合がある

※大会参加について不明点や確認がある場合は、必ず主催者に連絡をして確認を取ること

[ネットエントリー](#) [耐久エントリー用紙](#)